

施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	33	下水道
基本方針		
安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
污水管などの長寿命化事業	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
災害時マンホールトイレの整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
雨水管の整備	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
公営企業会計への移行	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
マンホールカードの制作と配布	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策33「下水道」では、5事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「污水管などの長寿命化事業」などの4事業は、「計画どおり完了」としているが、「雨水管の整備」では、東京都による奥多摩街道改良工事の遅延により、雨水管布設工事実施設計に着手できなかったことから、平成30年度に東京都との協定を締結し、東京都において設計及び工事施工を行い、工事完了後、負担金を支払うこととなったため、「次年度以降計画を見直す」としている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策33「下水道」については取組内容は、一部計画の見直しが生じているが、施策全体としては概ね順調に推移しており、今後の方向性については、すべての事業で引き続き、「現状のまま継続」していくこととする。</p>

1.基本項目

事業名	作成部署		上下水道部		上下水道設備課	
	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 污水管などの長寿命化事業	平成	25年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	33	下水道	重点事業No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	「羽村市下水道総合計画」、「公共下水道マンホール蓋更新基本計画(長寿命化基本計画)」に沿い、TVカメラを活用した污水管の点検やマンホール蓋の更新など、予防保全型の維持管理を計画的に行うことで、下水道施設の長寿命化を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	社会資本総合計画

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	マンホール蓋の更新 100箇所	同左 40箇所	同左 100箇所	同左 100箇所
	污水管の長寿命化 污水管TVカメラ調査委託 21.2km	同左 20.0km	同左 20.0km	同左 20.0km
	污水管内面補修工事 18.1km	同左 21.2km	同左 20.0km	同左 20.0km

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	人	30H	人	40H	人	40H
主事・主任職	1人	120H	人	105H	人	120H	人	120H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	137,288	108,319	144,553	144,553
人件費(係長職)	199			
人件費(主任・主事職)	408			
総事業費(合計)	137,895	108,319	144,553	144,553
国庫支出金	9,600		9,600	9,600
都支出金	480		480	480
受益者負担額				
その他特定財源	127,208	108,319	134,473	134,473
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	607			
財源内訳(合計)	137,895	108,319	144,553	144,553

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

【マンホール蓋の更新】
 ○長寿命化更新工事
【起工】平成29年9月26日・**【契約】**平成29年10月30日・**【工期】**平成29年10月31日～平成30年1月12日

【污水管の長寿命化】
 ○污水管TV調査
【起工】平成29年6月6日・**【契約】**平成29年6月30日・**【工期】**平成29年7月3日～平成29年12月4日

○污水管内面補修工事
【起工】平成29年7月4日・**【契約】**平成29年8月8日・**【工期】**平成29年8月9日～平成30年2月14日

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	108,319	0	108,319	100,440	92.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	22 H
主事・主任職	1人	105 H	1人	100 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○マンホール蓋の更新 40箇所 ○污水管TVカメラ調査委託 20.0km ○污水管内面補修工事 21.2km		○マンホール蓋の更新 40箇所 ○污水管TVカメラ調査委託 20.0km ○污水管内面補修工事 21.2km

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

安全で安心な住みよいまちにするため、公共下水道の適切な維持管理を目標どおり行う事ができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

平成25年度に策定した、羽村市下水道マンホール蓋更新基本計画(長寿命化基本計画)における、平成25年度から平成29年度までの計画的更新を今年度完了したため、新たに平成30年度から平成32年度までの347箇所の更新計画を策定し、継続的に耐用年数を経過しているマンホール蓋の更新を実施する必要がある。

1.基本項目

事業名	作成部署		上下水道部		上下水道設備課	
	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 災害時マンホールトイレの整備	平成 24 年	継続	自治事務	業務委託(一部)		
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標 4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	33	下水道	重点事業No.	2

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	災害時の福祉避難所となる公共施設に仮設トイレ用汚水柵を設置します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	災害時仮設トイレ用 汚水柵設置工事 福祉センター 5基	同左 中央児童館 5基	同左 東児童館 5基 平成32年度以降の設置 場所検討	同左 いこいの里 5基

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	20H	人	20H	人	20H	人	20H
主事・主任職	1人	40H	人	40H	人	40H	人	40H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	7,020	5,400	5,500	5,500
人件費(係長職)	100			
人件費(主任・主事職)	136			
総事業費(合計)	7,256	5,400	5,500	5,500
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	20			
一般会計繰入金				
起債	7,000	5,400	5,500	5,500
一般財源(人件費含む)	236			
財源内訳(合計)	7,256	5,400	5,500	5,500

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

【災害時仮設トイレ用汚水樹設置工事】

○中央児童館駐車場

【起工】平成29年5月25日・【契約】平成29年6月20日・【工期】平成29年6月21日～平成29年8月2日

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	5,400	480	5,880	5,487	93.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	20H	1人	20H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	→	今年度実績
○中央児童館 5基		○中央児童館(駐車場) 5基

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

安全で安心な住みよいまちにするため、公共下水道の効率的な整備を目標どおり行う事ができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

福祉避難所への災害時仮設トイレ用汚水樹の設置については、地域防災計画に基づき実施しているが、今後も児童館等への設置を継続して行うこととする。平成31年度に設置予定の「いこいの里」の設置場所や平成32年度以降の設置施設等については、平成30年度に検討が必要である。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 雨水管の整備		平成 24 年	継続	自治事務	業務委託(口部)	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	33	下水道	重点事業No. 3

2.事業の概要

施策の基本方針	安全で安心な住みよいまちづくりと良好な水環境を守るため、公共下水道の効率的な整備と適切な維持管理を行うとともに、雨水対策と安定した下水道事業経営に努めます。
事業内容	局地的な豪雨などによる浸水に対応できるよう公共下水道雨水管の整備を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	多摩川第8排水分区雨水管布設工事 市道2096、2097、2098号線工事施工	同左 市道2073、2095号線工事施工 奥多摩街道改良工事に伴う雨水管布設工事及び羽西一丁目雨水管布設工事実施設計委託 雨水管整備計画の検討	同左 市道2017、2022号線工事施工 同左 工事施工 多摩川第6排水分区雨水管布設工事(平成32年度～平成36年度)実施設計委託	多摩川第6排水分区雨水管布設工事 市道2004号線工事施工

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75H	人	75H	人	75H	人	75H
主事・主任職	1人	85H	人	85H	人	85H	人	85H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	26,635	33,719	103,449	19,092
人件費(係長職)	374			
人件費(主任・主事職)	289			
総事業費(合計)	27,298	33,719	103,449	19,092
国庫支出金				
都支出金	320	292	292	292
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	15	10,127	7,257	
起債	26,300	23,300	95,900	18,800
一般財源(人件費含む)	663			
財源内訳(合計)	27,298	33,719	103,449	19,092

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	601	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果(物)		の 出来高		の コストは
※ 対象者:				

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

【多摩川第8排水分区雨水管布設工事(工事施工)】

【起工】平成29年8月21日・【契約】平成29年10月6日・【工期】平成29年10月10日～平成30年1月12日

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	33,719		33,719	25,348	75.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75 H	1人	72 H
主事・主任職	1人	85 H	1人	88 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
・雨水管整備率 54.6% ・羽西1丁目雨水管布設工事実施設計 ・奥多摩街道改良工事に伴う雨水管布設工事実施設計 ・雨水管整備計画の検討	⇒ ・雨水管整備率 54.6% ・羽西1丁目雨水管布設工事実施設計完了 ・奥多摩街道改良工事に伴う雨水管布設工事について、東京都と協議した結果、協定を締結し都が設計・工事を都の工事に含めて実施するとなった。 ・平成30年度の実施設計に向けて、上下水道部内の会議を実施した。

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

安全で安心な住みよいまちにするため、目標どおり効率的に雨水管整備を実施できた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

東京都による奥多摩街道改良工事が遅延したことにより、同工事に伴う雨水管布設工事の実施設計は実施できなかったが、平成30年度に東京都と協定を締結し、都が設計・工事を行い、市は東京都の工事完了後、平成31年度以降に負担金として設計・工事費を支払う方法に事業の見直しを行った。

【今後の取組方針】

平成27年度に事業認可を受けた5年間(5箇所)の雨水管整備が平成31年度で終わるため、今年度新たに5年間(5箇所)分を選定し、平成32年度に事業認可を得て計画的に雨水管の整備を継続していく。

1.基本項目

事業名		作成部署	上下水道部		上下水道業務課	
00 公営企業会計への移行		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
		平成 28 年	その他	自治事務	業務委託(口部)	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	33	下水道	重点事業No. 4

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	地方公営企業法の規定に基づき、平成32年度から公営企業会計に移行し、経営成績や財政状態を把握することで、事業を計画的・効率的に実施し、施設整備の選択や工事コストの縮減に努め、安定的な運営と一層の経営の健全化を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	公営企業会計移行に伴う基礎調査及び資産調査	公営企業会計移行に伴う資産調査・評価及び移行準備	同左 公営企業会計システム導入	公営企業会計移行に伴う移行支援 公営企業会計システム運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	108 H	1人	108 H	1人	108 H
主事・主任職	1人	30 H	1人	108 H	1人	108 H	1人	108 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	9,126	11,448	8,975	10,843
人件費(係長職)	150	538	538	538
人件費(主任・主事職)	102	368	368	368
総事業費(合計)	9,378	12,354	9,881	11,749
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	9,378	12,354	9,881	11,749
財源内訳(合計)	9,378	12,354	9,881	11,749

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

- 法適用移行支援業務委託事業者との打合せ(年7回実施)
- 公共下水道台帳資産整理手法の決定と調査及び評価
- 地方公営企業法適用後の予算科目(案)作成
- 法適用自治体(2市)視察
- 公営企業会計システム導入のため情報化推進委員会に付議、方針決定
- 庁内関係部署との打合せ

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	11,448		11,448	11,448	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	108 H	1人	108 H
主事・主任職	1人	108 H	1人	108 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ○委託業者との打合せ、資料収集、調査、分析 ○法適用先進自治体の視察(2市) ○公営企業会計システム導入に係る資料作成及び情報化推進委員会への付議 ○庁内関係部署との打合せ 		<ul style="list-style-type: none"> ○委託業者との打合せ、資料収集、調査、分析(7回実施) ○法適用先進自治体の視察(2市) ○公営企業会計システム導入に係る資料作成及び情報化推進委員会への付議 ○庁内関係部署との打合せ(3月に会計課)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

安定した下水道事業経営を継続していくために、地方公営企業法の規定に基づき、平成32年度から公営企業会計に移行するための準備を着実に進めている。平成29年度は、公営企業会計システムの導入に向けた取組として、情報化推進委員会に付議し、システム導入について承認を得た。
 また、法適用先進自治体に視察を行い、情報収集に努めた。当初に掲げた活動計画を計画どおり実施し、次年度に繋がる成果を上げていると考えている。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

庁内関係部署との調整について、適切な時期に、必要な内容を周知できるように努める必要がある。

【今後の取組方針】

平成30年度は、公営企業会計システムの導入や試験運用などより具体的な取組が始まるため、職員間の情報共有を徹底し、早期に着手し余裕もって取り組む必要がある。

例規整備のための具体的な準備を行う必要がある。改正の範囲や改正の時期などを関係部署と調整し、遺漏の無いように確実に前に進める。

平成29年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道業務課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 マンホールカードの制作と配布		平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標 4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	33	下水道	重点事業No.	5

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	下水道のイメージアップ、下水道機能や役割を知ってもらうための広報ツールとして、下水道広報プラットフォームが企画・監修するマンホール蓋のコレクションアイテム「マンホールカード」を当市のデザインマンホール蓋においても制作し、配布する。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	1枚目のマンホールカードを平成28年12月から制作・配布中(堰とさくら) 平成29年4月発行予定のマンホールカード分に制作希望申請を行う。 (平成28年12月22日申請)	カード制作・配布 (キリンとチューリップ) 平成30年度発行予定のマンホールカード制作希望申請	同左 (羽村の堰とさくら) 平成31年度発行予定のマンホールカード制作希望申請	同左 (未定)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	38	38	38	38
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	34	34	34	34
総事業費(合計)	72	72	72	72
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	72	72	72	72
財源内訳(合計)	72	72	72	72

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

○第3弾マンホールカード「羽村の堰と桜」を水道事務所窓口で配布(平成30年3月末時点で2,323枚配布)
○第6弾マンホールカード「羽村市動物公園とチューリップ」の採用後、動物公園と調整し、配布場所の検討、プレス発表などPR活動を実施し、12月9日(土)から配布を開始した。(平成30年3月末時点で2,070枚配布)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	38	38	76	76	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	H	1人	H
主事・主任職	1人	10H	1人	10H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○マンホールカードの配布(第3弾・1枚目・羽村の堰と桜) ○マンホールカードの新規採用のための申請(羽村市動物公園とチューリップ)		○マンホールカードの配布(第3弾・1枚目・羽村の堰と桜)年度末時点で合計2,323枚配布 ○マンホールカードの新規採用決定、平成29年12月から配布開始(第6弾・2枚目・羽村市動物公園とチューリップ)年度末時点で合計2,070枚配布

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

施策の基本方針には具体的な記述はないが、下水道のイメージアップ、下水道機能や役割を知ってもらうための広報ツールとして、全国統一の様式で一定のルールを基準に配布するものでコレクションアイテムとしての人気も高い。メディアなどでも取り上げる機会があり、認知度は高いものと考えている。現在、水道事務所と動物公園で配布しており、その場所で、1人に1枚、手渡しするというルールのもとで行っており、羽村市を訪れる切っ掛けとなることも期待している。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

水道事務所は、土日祝日を閉庁しているため、今後、配布場所の検討が必要と考えている。

【今後の取組方針】

下水道機能や役割を知ってもらうため、市内のイベント開催時に、マンホールカードを活用したPR活動を行うことを検討している。
現在、「羽村の堰と桜」のマンホールカードは、羽村市水道事務所配布し、「羽村市動物公園とチューリップ」のマンホールカードは羽村市動物公園で配布しているが、今後は、水道事務所から土日に閉庁している施設で配布できるように変更し、マンホールカードとマンホールの実物を求めて羽村市内をウォーキングで横断できるよう関係部署と調整していく。